


(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	岐阜県立高山工業高等学校		
実 施 期 間	平成25年9月～12月		
実 施 概 要	<p>(1) 外部講師による実技指導「干支の木彫(午)」</p> <p>(2) 高工PR day 飛騨地区『ザ・プッシュマン』ロボット大会</p> <p>(3) 中学生保護者学校見学会 高山市内中学生の保護者に、本校の紹介及び見学会を実施</p> <p>(4) 平成25年度危険物取扱者試験学習会 飛騨地区の危険物取扱者試験乙種4類の受験者(一般人)への講習</p> <p>(5) テクノボランティア 本校が持つ技術力を生かしての地域活性化事業に協力 パスカル清見「ベンチの製作と寄贈」</p> <p>(6) 南小学校での交流会 課題研究作品の「アルミロボット(今年度作品)」、「獅子舞ロボット(22年度作品)」展示と「プルプルみの虫」の製作体験</p> <p>(7) ものラボワークショップ 小学生4年生～6年生を対象にものづくり体験</p>		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	37 人	計 321 人
	地 域 関 係 者	284 人	
実 施 状 況	<p>(1) 外部講師による実技指導「干支の木彫(午)」</p> <p>【実施日】11/6, 11, 21, 25, 12/2</p> <p>【来校者】地域関係者2名 講師 若林 繁夫氏(若林彫刻所) 小坂 礼之氏(小坂彫刻房)</p> <p>【実施内容】地元の伝統技術を伝承するため、技術講師(一位一刀彫)を招き直接技術指導を受け、伝統工芸に貢献できる技能・技術者を育てる。</p> <p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none">生徒は地元の伝統工芸に直接触れることができ、ふるさと理解につながったと思う。願わくは、地元の伝統技術を伝承するためにも、伝統工芸に直接貢献できる技能・技術者を育てたい。		
			

<p>(2) 高工PR Day 飛騨地区『ザ・プッシュマン』ロボット大会 【実施日】 9月21日(土) 【参加者】 飛騨地区内6校の中学生31名(27チーム) 【実施内容及び成果と課題】 同日の高工PR Dayの一部門として、トーナメントのロボット相撲大会(ザ・プッシュマン)を運営した。飛騨地区内の中学生を意識した催し。</p>
<p>(3) 中学生保護者見学会 【実施日】 11月11日(月) 【参加者】 37名(高山市内中学校の保護者) 【実施内容及び成果と課題】 ・普通教科の授業参観を行い、習熟度別授業や少人数分割授業を紹介。 ・各専門学科の紹介を行いながら実習室の見学を行い、実際に行っている実習の様子をご覧いただいた。 【保護者の感想】 ・話だけでは分からない、工業高校でどのような学習をしているのかを実際に見る事ができました。進路の選択肢として捉えています。</p>
<p>(4) 平成25年度危険物取扱者試験学習会 【実施日】 10月5日(土) 【参加者】 一般の方(高山市34名・飛騨市26名・下呂市24名) 【実施内容及び成果と課題】 危険物取扱者試験予備講習会の代わりとして本校が飛騨地区危険物安全協会連絡協議会から講師を依頼され、平成23年度より今年度で3回目の開催。講習内容は危険物取扱者試験の乙類4種に関する法令、危険物性状等について実施。</p>
<p>(5) テクノボランティア 【実施日】 10月上旬～11月上旬 【参加者】 建築インテリア技術部の生徒15名 【実施内容及び成果と課題】 本校が持つ技術力を地域等に還元し、地域活性化事業に協力活動を行う。(株)パスカル清見から依頼された15台のベンチを製作し、寄贈した。</p>
<p>(6) 高山市南地区の町文化祭、南小学校での交流会 【実施日】 10月20日(日) 【参加者】 150名程度(内 児童生徒100名) 【実施内容及び成果と課題】 ・高山市南地区の町文化祭へ参加し、今年度課題研究作品「アルミロボット“リベッタ”」、平成22年度作品「獅子舞ロボット」の展示と「プルプルみの虫」(振動モータで目が動く“みの虫”形ストラップ)の製作体験を行った。 【地域担当者の感想】 ・工業高校さんから、「ものづくり体験をさせてみては」という提案で、今年で3年目。大変好評で感謝している。ぜひ、来年も製作体験をお願いしたい。</p>
<p>(7) ものラボワークショップ 【実施日】 10月12・26日 11月9日・23日 12月7日(5回) 【参加者】 小学生24名 保護者24名 【実施内容及び成果と課題】 主催：東京大学大学院教育学研究科 共催：高山市教育委員会 後援：㈱和井田製作所・高山工業高等学校 高山市内の小学生対象に協同でものづくりを行う中で、ものづくりの楽しさを知るだけでなく、豊かな発想力・想像力をたかめることを目的として実施。本校生徒が、そのものづくりの補助にあたる。 「身近なものでヒコーキづくり」 「ピタゴラ装置をつくろう」 「3Dプリンターを使ってみよう」 「センサーの世界を体験しよう」 「自分だけのピタゴラ装置をつくろう」</p>

